半母音 中屋に母艦に かったんいいよ ちはり母は、 と一たんいやや

同じように見えているのでしょうか。もしかすると人によった人なり って見える世界はかなり違うのかもしれません。 今見えている世界は、 一人ひとりが

ある日の事でした。台所で恐ろしい光景が見えたのです。 大吟醸のお酒が料理酒として使われているではありま

せんか!「なんでこんないい酒を料理に使うんだ」母親に言

うと「だっておいしくできるんだもん」・・

私にとっては、 おいしく飲むのがお酒

母にとっては、 おいしく料理する調味料が :お酒

見える景色が違ったようです。

るという考えのことです。 今回の一水四見とは、 水は見るものによって違って見え 人間には水に見えるが、天人は

瑠璃の大地に見え、地獄の 人々は膿の河に見え、魚には道路

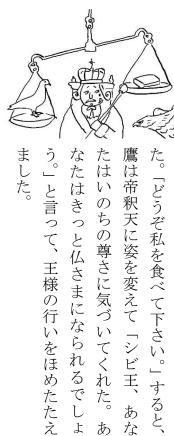
に見えるというのです。

う見えているけれども相手にはこう見えてい 平和に暮らせるのかもしれません。 る。日常で、少し意識するだけで、少しばかり 立場によって見えるものが違う。 私にはこ

え話があります。 いのちについて、仏教のたと

むかし、 むかし、 インドに

**老佐へ**ビ王という王様がいました。 を食べたらいいと鷹に条件を出します。鷹は、それでは鳩と するとどうでしょう。王様の方が重いはずなのに、秤は釣り 王様は「あ、わかった。」といって、自分が秤にのりました。 しいなー」と、首をかしげながら静かに考えました。そして、 やはり先程と同じで鳩のほうが重いのでした。王様は「おか みよ。」と、言いました。家来は新しい秤で量ってみましたが の秤は壊れているのではないか?新しい秤でもう一度量って した。鳩のほうが重く下にさがっています。王様は家来に「こ そして秤の皿に鳩をのせ、反対の皿に自分の足の肉をのせま 自分の足の肉を、鳩と同じくらいの大きさに切り取りました。 同じ重さの肉をくれたら助けてやろうと条件を出しました。 では鷹に食べられてしまう鳩を助けたいとシビ王は、私の肉 れた鳩が入ってきてシビ王の所にやってきました。このまま 合いがとれて同じ重さを示しました。王様は、 交渉は成立し、家来に秤を持ってこさせました。シビ王は、 ある日、 お城の窓から鷹に追わ



身近な仏教用 語を紹介して います。

ました。